



ニューズレター あすか

2007
6月号

通算 171 号

2007 年 6 月 1 日

医療法人あすか入社式



平成19年4月5日(木)
中区アンデルセンにて

平成19年は、5名の新卒職員を迎え入社式と歓迎会を行いました。



「入社おめでとうござ
います。新入職員を迎
えると同時にあすか
でも4月から地域に密着
したサービスである
「つどいの家」「野ばら」
を開所いたしました。
この事業所とともに医
療法人あすかの一員と
して諸先輩を見習いな
がら、頑張つてほしい
と思います。」

また、この4月から
8月まで外来の方を手
伝つてくださる政永先
生のご紹介がありまし
た。

次頁へ

【目次】

【ページ】

1. 入社式.....2
2. 愛と笑いのチカラ
3. 経過報告
4. 理美容出張サービスのご案内
5. おもしろきかな我が人生
～岡本 初子さん～.....3
6. あすか事業所だより.....4
7. あすか事業所だより.....5
8. 委員会だより6
9. あすか6月のロードショー
10. 若竹句会 4月作品抄7
11. ホームページの紹介.....8



梅干すや
庭にしたたる
紫蘇しその汁

書道参加のご利用者様作
カレンダー



新人代表で
山岡 敦史さ
んが抱負を述
べました。

「医療法人あすかの一員となれたことをとても誇りに思います。まだまだ未熟ですが理事長はじめ諸先輩方のご指導を得て、一日も早く独り立ちできるように努力いたします。医療法人あすかの一員として社会人としてまた一人の人間として成長していきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。」

その後、永年勤続表彰者・2年間の送迎運転無事故無違反表彰者が、表彰されました。

その後、いろいろゲームをして楽しく過ごしました。アンデルセンのお料理もおいしく特にくるみパンが中は軟らかくて外はパリッとしていてとても好評でした。

最後は副院長の「働く人が楽しく生き生きとした職場にしましょう。」の挨拶で、出席者全員、気持ちを新たにしました入社式でした。

介護支援専門員

西岡 俊子

シリーズ7 「愛と笑いのチカラ」

「笑い」は人間の身体にどんな影響を与えるのでしょうか。免疫力・細胞の活性化など、数多くの医学的効果が報告されています。時に、メスや薬以上の力を発揮する「笑い」の効果を、シリーズでご紹介しています。

笑いは、脳を刺激し、人間関係も良くします。より大きな声で笑う方が、効果も大きいそうです。そんな場面が、3月12日のイベント「唄と踊りの集い」でありました。なんと、このイベントに殿様が現れました。この殿様、踊りは下手だし、その上音痴ときて、ご利用者様は涙をこぼしながら大笑い！実はお殿様は、民謡の正木先生でした。このお殿様が、正木先生のわけがないと、ご利用者様の中には、どうしても納得できない方もいらっしゃいました。今日の民謡の正木先生は、皆さんと、どうしても目を合わせないようにしていました。また、殿様しゅりあに来て下さいね！

しゅりあちょーく 中谷 百合子



西田様



脇坂様



稲田様

経過報告

みどりの木 介護保険外サービスについて

今月は、外出介助の依頼がありました。(理美容院)
ご利用者様は「半年振りに散髪ができてスッキリした、かっこよくなった、今度は買物に行きたいなあ」と外出されることに意欲的でした。
最近では、「衣替えサービス」の依頼もきています。



理美容出張サービス

6月のご案内

- ・しゅりあちょーく 4日(月)
- ・まやるちょーく 11日(月)
- ・ショートステイ 13日(水)





「前向きにやって
こられたのは主人の
おかげです」

昭和17年9月28日生まれ(65歳)

お住まい... 緑井

趣味... お友達とおしゃべり

愛犬... かんちゃん(ラブラドルレトリバー)

少女時代

海とみかん畑に囲まれた大島。ここで生まれ育った私は、のんびりとしたおとなしい女の子でした。父は漁師で朝早くから漁に出かけ、魚を釣って帰ると近所の人々がたくさん買いに来るので、私は銭袋にどんどん大金が入っていくのをいつも楽しみに見ていました。祖父母はみかんを栽培していましたし、母は機織りをしていましたので、時々私も手伝いをしていましたよ。中学に入ると、華道や茶道など習い事にも夢中になりました。中学を卒業してすぐに大島の織物工場に就職。寮生活でしたが、私の地元から何人もここへ就職していましたので、淋しい思いをすることはありませんでした。給料が入ると、私は一銭も使わずに全て実家に仕送りしました。お金や物に執着がなかったんですね。実家からもみかんなど地元の特産物を、いつも小包で送ってくれていました。



50歳頃、実家
大島のみかん畑で

23歳、恋愛結婚

工場で仲良くなった同僚が、よく自分の親戚の家に、私を連れて行ってくれたんです。その同僚の兄が車で送り迎えしてくれていました。その同僚の兄というのが現在の主人なんです。主人のことは「ええ人だ」と好印象を持っていましたが、向こうもそう思ってくれていたようで、本当に自然な恋愛でした。私は自分のためにお金を使うよりも、人のために使う方が好きでね。そこに遊びに行くたびに、お饅頭を買って行ったりしていたからか、親戚の人からも気に入られ、主人との仲も、あんたらどうするんね」と応援してもらいました。

突然の大ケガ

結婚後はベッドを作る工場に勤務しながら、子供も1人儲け、順風満帆に暮らしていました。しかし5歳の頃、転んで頭を打ち、5カ月間入院することになりました。言葉や体も不自由となり、リハビリに明け暮れる日々でした。それでも私は、あまり落ち込むことがなかったんですよ。主人はそれまで家事など一切したことがなかったのですが、私のケガを期うになりました。周りの人もびっくりするくらい、まめにやってくれています。ここまで前向きにやってくれたのも主人のおかげ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

自宅を新築

昨年、長女家族と同居するため、家を建てました。孫2人も、この春から希望の高校・大学に進学でき、ひと安心しています。愛犬のかんちゃんも新居は住み心地よさそうです。夫婦2人だった生活に比べるとともにぎやかで、家族に支えられながら安心して暮らしていることを実感します。まやるちょーくに通い始めて1年半位ですが、お友達もたくさんできましたし、スタッフの人も親切で、楽しく過ごしています。私は嫌いな人とは、物も言わんのよー。だからまやるちょーくはええ人が多いんじゃない(笑)。



かわいいお孫さんの小さな頃

「私は人見知りよーとおっしゃっていましたが、まやるちょーくでは岡本さんの周りにいつも人が集まって会話がはずんでいます。これからも、まやるちょーくで岡本さんの輪を広げていってくださいね。」

まやるちょーく 富永さゆり



お花見



待ちに待ったお花見ピクニック！
今年はお花見の開花発表を心配しながら、開花し満開までタイムリーな時期にあさひが丘公園に行くことができました。美味しいお花見弁当を食べながら、みなさんの笑顔も満開になりました。

まやるちよーく

4/2
~ 7

みんなで外で食べると
おいしいーい！



このうぐいすは
上手ねえ～！



しゅりあちよーくは昨年同様、安佐北区にある『花みどり公園』にお花見に行きました。
今年も天気にも恵まれ、うぐいすの「ほーほけきよ」と上手な鳴き声に利用者の皆さんも大喜び、「うぐいすの鳴き声を聞きながらお弁当だなんて、嬉しいわぁ」と笑顔がこぼれます。
『しだれ桜』・『ソメイヨシノ』とも、とても綺麗で思わずため息が出るほど。4月4日はあいにくの天気でしたが、「桜が咲いているのに雪がふるなんて、本当に珍しいわぁ！とても良い思い出になったわ」と感動されるご利用者様も。
今年も『桜』・『うぐいす』・『雪』と、本当に私たちを楽しませてくれるお花見でした！また来年もしゅりあちよーくの皆さんとお花見に行けることを今から楽しみにしています。

しゅりあちよーく

3/31
4/4
~ 9

4月からスタート

野ばら

定員は一日12名と少人数です。一人ひとりに合った対応を心掛ける。プログラム中心の活動ではなく、食事の支度・おやつ作り・洗い物・畑仕事・掃除といった、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で役割を決めて「野ばら」で過ごしていただいています。
天気のいい日は、リハビリを兼ねた近所のお散歩。麦わら帽子をかぶり、ベンチに座りだしやれを一言。「上半身も動かしましょうよ。」とご利用者様同士でリハビリが進んでいきます。

話に花が咲きます☀️!



人参・玉ねぎ何でも持ってきて。味付けもやりますね。



4月からスタート

つごいの家

小規模多機能型居宅介護事業所『つごいの家』が4月1日からスタートしました。お茶を入れて飲んだり、お米を洗ってご飯を炊いて、食事をしたり。皆さん一緒に、役割を持って生活するようになっています。今回は誕生会をしました。皆さんでケーキを焼いてトッピング。誕生者の小田さんをお祝いしました。小田さんは「こんなのは初めてよ」と喜んでいらっしました。



みんなでケーキを焼いて小田さんのお誕生日をお祝い!

かるやんちょく

(お菓子作り)

「みんなで春を感じよう!」
桜の咲く時期に季節のお菓子を食べて、季節感を味わおう!かるやんちょくでは、桜の塩漬けを使ったお菓子作りに挑戦しました。
ホットケーキミックスを焼いた生地にあんこをのせて、その上に桜の塩漬けを飾りました。みんなで焼いてみんなで美味しくいただき、春をたっぷり味わいました。

美味しそうな出来上がり!



▼しっかり混ぜます



委員会だより④

今月の委員会の紹介は教育委員会です



教育委員会の目的は、『すべての職員が、あすかの職員として質の良いサービスを提供できるよう専門的知識・技術、その他必要な知識の向上を図り、自らも必要な力量がもてるよう援助すること』です。教育委員会の活動は新採用者の教育計画と実施、職員の知識、技術向上のための院内研修の企画や実施などです。今年も4月2日、3日は新採用者向けの新人研修会を行いました。

医療法人あすかの理解と専門職としての倫理やプライバシー保護について、社会人としてのマナー、安全管理と顧客満足について、介護保険の基礎知識、ISOについてなど、盛りだくさんの研修内容でした。研修会後は、各事業所で「新人業務習熟要件」と「新人パス」に基づいて現場での研修を行います。研修期間中は個々の新人にエルダー（指導担当の先輩職員）が一人ずつつき指導を行います。そうして一つひとつの業務の習得が確認されて、初めて、その業務を任されることになるのです。

また、医療法人あすかでは毎年「あすか研修会」を開催しています。今年も6月17日（日）に西区民文化センターの大

ホールで行います。例年、勤務で参加できない職員を除いてほぼ全員が参加しています。自分たちがこの一年取り組んできたこととその成果、そしてこれから取り組むことや目標をそれぞれの事業所や委員会が発表します。職員にとつて得ることの多い充実した一日になっています。教育委員会はあすか研修会の企画や実施を安全委員会や、感染対策委員会などのほかの委員会と協力して行っています。今年の「あすか研修会」は『つみ重ねる』がテーマです。仕事をつみ重ね、知識をつみ重ね、経験をつみ重ね等・・・決して後退することなく仕事をつみ重ねていく研修会にしていきたいと思っています。

教育委員長

三原千春



あすか 6月のロードショー ★

【ハウルの動く城】



あらすじ

主人公ソフィーは18才。ある日、街で美貌の青年・ハウルと出会う。何かに追われているハウルと空中散歩にいざなう。しかしその夜、ソフィーは、魔女に呪いをかけられ、90才のお婆ちゃんに姿を変えられてしまう。このままでは家にはいられない！そしてハウルの動く城に潜り込むのだが・・・

この映画は しゅりあちょーくで6/8（金）

ショートステイで6/10（日）

まやるちょーくで6/11日（月）・12（火） に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・火・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

若竹句会四月作品抄

信廣高陽 選 (平成十九年)



如月きんげいを 聞くだに恋し 妣ははのこと

益田 佐登子

〔寸評〕如月は、「衣更着」とも言い、「生更着」草木の更生することをいいます。着物ものをさらに重ね着る意とするのは誤りだといわれています。陰曆二月の異称です。睦月むつき(正月)、如月にげつき(二月)、弥生やよいち(三月)……と、月の異称を教えこまれたこと、今は亡き母上の愛情をしのぐのでの一句。「聞くだに」は聞くだけでもの意。「妣」は「母」。

窓を開け 沈しん丁てい花けの香 誘い込む

山縣 龍三

〔寸評〕「沈丁花」は高さは一、二メートル。三〜四月頃紫紅色の花がかたまつて咲き、香りが高い。夜気の中で匂うのはことに印象的です。その香りが沈香しんこうや丁香ていこうに似ているといわれ、この名があります。「中七」は一寸きゆうくつですね。「沈丁の香を」にしてはいかがでしょう。



目的を しっかり決めて 卒業す

河野 一枝

〔寸評〕「卒業」が仲春の季語。進学難、就職難がうわさされている世相の中、一番大事なことを一句にしていますね。学業を終えた安堵感にあわせて明日への希望にふくらんだ喜びはひとしおのものがあります。心から「おめでと〜」を言いたいと思います。こんな句もあります。

力ちから一いつぱい 海うみに石いし投げ 卒業す 中野 蜂光子

朝夕が 楽たのしみになりしや お水取みずとり

常広 信枝

〔寸評〕「お水取」は仲春の季語。お水取りがすまないと暖かくならないといわれていますので、気持ちの上での感動をそのまま「楽になりしや」と呼びかけたところが上手です。

お水取みずとり 過ぎてても今朝の 寒さかな

中谷 明子

〔寸評〕「お水取」は三月十三日午前二時前後から行われる奈良東大寺二月堂の修二しうに会の行の一つで、仲春の季語です。この夜童子が回廊で振り廻す大松明たいしょうめいの火の粉をあびると厄除けになるといわれ、沢山の人が殺到します。また、お水取りがすまないと暖かくなるといわれていますので、年によってはこの句のような嘆き節が聞かれます。

黄水仙 床とこに生けても 香りあり

大北 政子

〔寸評〕黄水仙は、観賞用に栽培される水仙の一種で、横向きに香りのよい鮮黄色の花を開きます。床の間いっぱい広がつた黄水仙の香りが匂うようですね。



石佛いしぼつに 一輪づつの 黄水仙

栗根 年雄

〔寸評〕黄水仙が仲春の季語。鮮黄色の花と石佛の色の取り合わせがうまい。路傍の石佛のわびしさに、華やいた黄水仙が加わった調和の中に詩情を生んでいるのです。

老いぬれば こそ手をつなく 花見どき

伊木 幹枝

〔寸評〕「こそ」は感情をこめた呼びかけ、華やいた「花見どき」の季語の効用とも共感を呼ぶ秀句です。「今の若い人のことをどう〜」言つつもりはない。独り身はさびしいです。「作者の付言をあえて披露したい。」

選者吟

抜けて見る 花はなも一興いっせい 車の座

信廣 高陽

ホームページの紹介

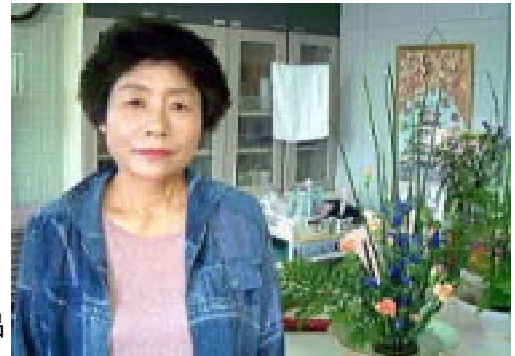


あすかのホームページをご紹介します。
第2回目は生け花です！

インストラクターの紹介

山根 淑子 先生

あすかでは平成5年3月より講師を務めております。
私は、昭和43年8月華道池坊へ入門。その他、毘沙門台集会所、コブ安東で教えています。



山根 淑子 先生

あすかでの生け花教室の目的

四季折々の植物、外国から入ってきた珍しい植物、美しく可愛い花などと身近に接して頂き、その花をどの様に生けたら美しい作品に出来るか他の事を忘れて無心に考える時間が気持ちのリフレッシュにつながるのではないかと思います。

最初、依頼を受けた当時は「デイケア」という言葉もまだあまり普及していない頃で私自身もご利用者様とどの様に接したら良いのか手探り状態でした。そして、ご利用者様の方も池坊の花がどんな花形でどの様な手順で生けていったら良いのかとまどっておられた方が多く、見本の花で生け方を説明しながらのお稽古でしたが、ただ剣山に花材を立てるのが精一杯という状態で手直しに時間がかかっていました。

しかし今では見本の花を見ながら大体いい形に生けられる様になり、手直しが随分楽になりました。「継続は力なり」という言葉がありますが、まさにその通りだと思います。

そしてご利用者様との気心もわかってきて、作品完成後の雑談もわきあいあいと楽しいひと時です。

今後の展開

四季折々の植物、行事の花などを取り入れ会話を交えながら、楽しく生け花に取り組んでいただきたいと思います。

医療法人あすかの理念・3s

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist** (専門家): 職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy** (共感): 職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety** (安全): 職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

4月は医療法人あすかにとって新たなスタートの月です。新しい事業所『つどいの家』『野ばら』がスタートしました。家庭的な雰囲気の中皆さんで分担して食事の支度をしたりおやつ作りを楽しんだりされています。

また新人職員を迎え、新人研修会にも力を入れてきました。入社式を終え、職員一同気を引き締め心機一転頑張っています。6月にはあすか研修会で一年取り組んできたことを発表します。

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

あすか通所介護事業所	あすか小規模多機能型居宅介護事業所	あすか福祉用具貸与事業所	あすか訪問介護事業所	あすか短期入所生活介護事業所	あすか通所介護事業所	あすか通所介護事業所	あすか通所介護事業所	高橋内科小児科医院	ご相談はお気軽に
野ばら	つどいの家		みどりの木		しゅりあちよーく	まやるちよーく			あすか居宅介護支援事業所
082・830・0552	082・870・6704	082・830・5177	082・830・5177	082・870・6700	082・830・0552	082・870・3800	082・879・3143		082・830・5177

“ニューズレターあすか” は当法人のホームページ上でも見る事ができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

高齢者の在宅療養を支援します